



令和3年8月1日

みなみひの保育園

暑中お見舞い申し上げます。梅雨明けと共に本格的な夏がやってきました。セミの声と水遊びの子どもたちの元気な声が響いています。

暑いと体力が落ちて、食欲がわからないことや、つい冷たいものばかりを食べてしまうことがあります。暑さに負けない体づくりをするためにも、しっかりと食事を食べられる工夫をしましょう。

あせもを防ぎましょう

あせもは、おでこやひじ、首の周りなど、汗がたまりやすく、皮膚がこすれる場所にできます。アトピー性皮膚炎のある子は、症状が悪化することもあるので注意しましょう。

あせもを作らない 3つのポイント

- 1 薄着が基本
- 2 吸湿性のよい木綿の肌着を着る
- 3 汗をかいたら着替える、タオルでふく、シャワーで流すなどして、常に肌を清潔に



水いぼ Q & A

Q. 水いぼって何？

A. 伝染性軟属腫ウイルスが原因でできる粟粒大のいぼで、おなかやひじ、わきの下などにできて広がります。

Q. うつるの？

A. いぼがつぶれて中の液が付くとうつります。体の接触、タオルなどの共有でうつりやすいので注意が必要です。

Q. 登園やプールは？

A. 登園の制限はありません。プールもOKですが、傷がじゅくじゅくしているときはガーゼで覆い、プールも控えたほうがよいでしょう。

Q. どうやって治すの？

A. そのままでも半年から1年半ほどで治ります。アトピー性皮膚炎の子や、かゆくてかきこわしてしまふような場合は医師に相談のうえ、治療を。



7月の感染症

突発性発疹 1名

暑い日が続きます。免疫力を低下させないように、生活リズムの見直しをお願いします



今月の幼児の保健指導を“熱中症”をテーマに予定しています。

園では毎日、熱中症計(気温、湿度、輻射熱を計算)で午前午後の危険度を計測しています。それをもとに、外遊びの有無を判断しています。また、『あついひのおともだち』という紙芝居をとおして、水分補給、朝ごはん、帽子、休憩(お昼寝)の大切さをお話しようと思います。ご家庭でもぜひ、大事なことをお子さんと共に話し合ってみてはどうでしょうか。

熱中症に注意



暑中おみまい 申し上げます。

短い夏を楽しんで

ください。

